

目次

- 1) 公民連携による碑文谷公園の魅力アップについて
- 2) 実証実験の実施
- 3) アンケート調査の実施
- 4) 意見交換の実施
- 5) 今年度の取組の結果を踏まえて
- 6) 今後の予定

1) 公民連携による碑文谷公園の魅力アップについて

経緯

このニュースレターは、P2に記載の区公式ウェブサイトや右のコードからでもご覧いただけます。

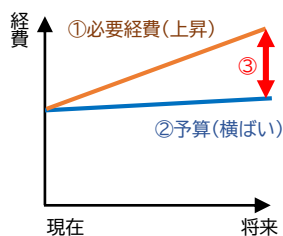


区では、令和4年度より、公園の魅力アップと区の財政負担の軽減を目的に、区立公園における公民連携の取組について検討しています。これまで、公園利用者へのアンケート調査、公園利用者数調査、事業者へのヒアリング等を実施し、令和5年4月に碑文谷公園を公民連携による魅力アップの優先度の高い公園として選定しました。

令和5年度は、公民連携による碑文谷公園の魅力アップについて具体的に検討するため、令和5年11月に実証実験のイベントを開催するとともに、アンケート調査や公園利用者・地域住民等が参加する意見交換を実施しました。

碑文谷公園を取り巻く現状

コロナ禍を経て、身近な憩いの場である公園で過ごす人が増えており、公園に対するニーズも年々多様化しています。一方で、区の公園の多くは開園から30年以上が経過し、施設の老朽化が進んでいます。また、維持管理も、物価や労務単価の上昇や樹木の成長などにより必要経費が増えています。公園利用者のニーズに応えながら、行財政の負担を少しでも軽減し、安全に楽しく過ごせる魅力ある公園を実現していく必要があります。



- ① 今後も物価や労務単価の上昇が続く見込みです。施設の老朽化にも対応していく必要があります。
- ② 公園の維持管理に係る区の予算はここ30年ほどほぼ横ばいで、今後も予算が大きく増える可能性は低いです。
- ③ ①と②の開きを少しでも小さくする必要があります。



【参考】 碑文谷公園の年間の維持管理経費(令和3年度実績)

公園・トイレ清掃、池浄化設備保守:14,791千円
 施設運営(子ども動物広場・ボート場):46,385千円 計61,176千円
 +その他(光熱水費、樹木剪定、施設修繕、防犯カメラリースなど)

碑文谷公園の今

碑文谷公園は、現在、公園ボランティア団体や町会・住区住民会議、子ども動物広場・碑文谷体育館・ボート場を運営する事業者など、区(公)と様々な団体(民)との連携協力により成り立っています。公園でのボランティア活動、指定管理者や委託業者によるサービス提供、公園利用者や関係者等による「碑文谷公園を話し合う会」での意見交換などの取組が行われています。区としては、上記の現状を踏まえ、収益を直接公園に還元し公園を維持・魅力アップを図るという視点の「新たな公民連携」にも取り組んでいく必要があると考えています。



碑文谷公園での公民連携の基本的な考え方

※公募設置管理制度(Park-PFI)の説明は、本ニュースレターP4をご覧ください。

- ① **コンセプト・役割・地域特性を前提とした計画**
 碑文谷公園の目指すコンセプトや求められる役割(子どもの遊び、生物多様性や桜、地域活動(お祭りなど)や、碑文谷公園が住宅地の中にあるという特性を十分に考慮し、地域になじむ計画とします。
- ② **「公募設置管理制度(Park-PFI)※」を検討**
 公園で上がった収益を直接公園に還元しやすい手法として、「公募設置管理制度(Park-PFI)」の実施を検討しています。そのため、常設の収益施設を公園内に新たに設置する可能性があります。(場所や内容は決まっていません)
- ③ **ポニー・体育館事業を活かす**
 現在のポニー事業、体育館事業はそのまま活かし、そこ以外の部分で公園に魅力を付加する計画を考えています。
- ④ **住民参加を基本とした公園づくり**
 今後も地域に愛される碑文谷公園としていくため、公園利用者・地域の皆さんに参加いただきながら一緒に検討していきたくと考えています。

2) 実証実験の実施

公民連携による碑文谷公園の魅力アップの取組について具体的に検討するため、トライアルサウンディング（都市公園の暫定利用を希望する事業者等の提案を公募し、一定期間、実際に使用してもらう試み；実証実験）を実施しました。4事業者から問合せ・相談があり、実際に実証実験を行ったのは1事業者でした。

- ① 名称 GAKUDAI PARK MARKET
- ② 日程 令和5年11月25日(土)、26日(日)
- ③ 時間 10時から17時(両日マーケット)
18時から20時(25日のみ映画上映)
- ④ 主催 高架下から学大を考える会【構成員：東急株式会社ほか】
協力 学芸大学商店会連合会など
- ⑤ 内容 生鮮食品や加工品の販売、古着や骨董品、アクセサリやセレクト
雑貨販売、キッチンカー、ワークショップ、ステージ、屋外映画上映
- ⑥ 出店数 105店(内41店が学芸大学駅周辺店)
- ⑦ 来場者数 1.2万人(主催者推計)
- ⑧ 当日の様子



イベント周知ポスター



キッチンカー



古着・雑貨販売



屋外映画上映



子ども向けワークショップ

3) アンケート調査の実施

イベントの満足度や今後の公民連携による碑文谷公園の魅力アップの取組に対する意見を把握するため、ウェブ上でアンケート調査を実施しました。

本ニュースレターにはアンケート結果の一部抜粋を掲載しています。他の項目は、区公式ウェブサイト(右のコード又は下の掲載場所)でご覧いただけます。
[トップページ](#)>[しごと・まちづくり](#)>[公園・緑化](#)>[公園](#)>[公民連携による公園の魅力向上](#)
[> 公民連携による碑文谷公園の魅力アップ\(ニュースレターを発行しました\)](#)



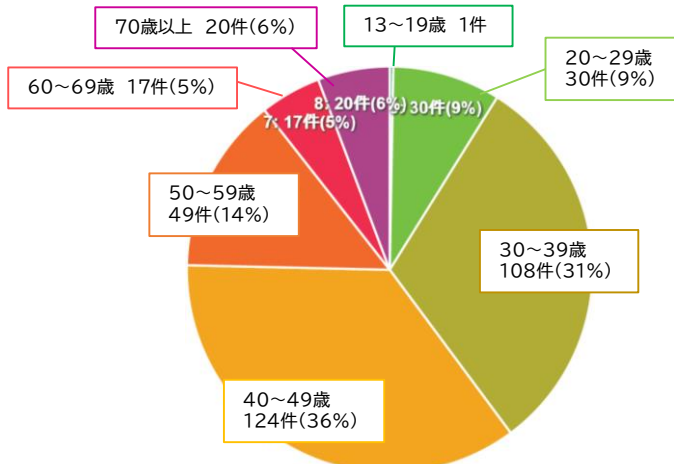
【実施期間】 令和5年11月17日(金)から12月10日(日)まで

【調査項目】 回答者の属性、イベントについて、現在と今後の碑文谷公園について

【結果概要】 ① 回答者数 349件

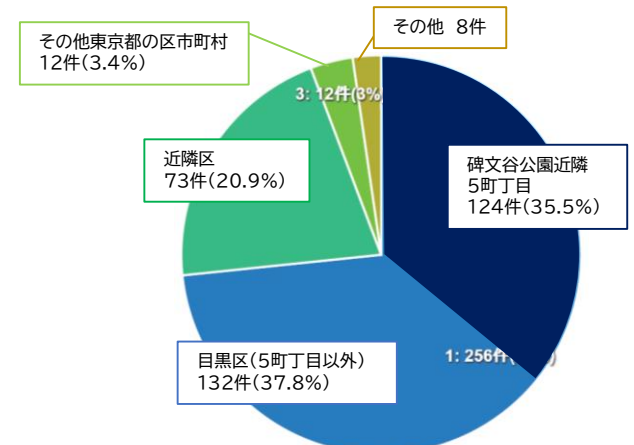
② 回答者(年齢)

40～49歳、30～39歳の回答が多く、合わせて67%でした。12歳以下の回答者はいませんでした。



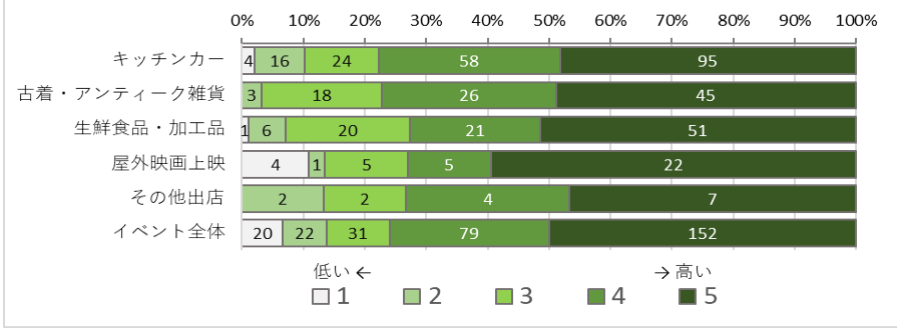
③ 回答者(居住地)

回答者のうち約73%が目黒区民でした。ここでは、碑文谷5・6丁目及び鷹番1・2・3丁目の5町丁目を碑文谷公園近隣として集計しています。



④ イベント各コンテンツの満足度

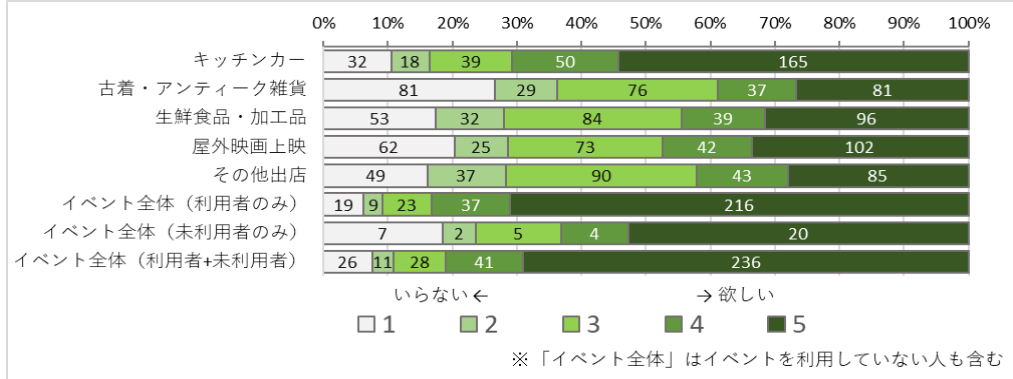
各コンテンツの満足度について、最も評価が高い”5”と回答した人が各コンテンツで5割近くとなり、満足度は高かったといえます。



⑤ イベント各コンテンツが

今後の碑文谷公園に欲しいか

イベント全体でみると、最も要望が高い”5”と回答した人が7割近くとなり、イベントのニーズは高いといえます。ただし、コンテンツ別にみるとキッチンカーは”5”が5割を超えたものの、他コンテンツは3割程度となりました。



4) 意見交換の実施

令和5年11月30日(木)に、18名の公園利用者・地域の皆様が参加した「第33回碑文谷公園を話し合う会」において、ワークショップ形式によりテーマごとに参加者同士で意見交換を行いました。公民連携は、将来の目標や理想を実現したり、課題を解決するための手段の一つであるという考えのもと、碑文谷公園のより良い未来に向けてアイデアを出しました。



各班での意見交換の結果を発表する様子

テーマ	分類	主な意見
① 碑文谷公園の良い点	施設等	みどり・いきもの、池・ポート、運動、動物とのふれあい
	利用者の多さ	子どもが多い、利用者同士の交流、幅広い年齢層が利用、利用者が多く1日中人の目があり安心
	周辺環境	立地・アクセスの良さ
① 碑文谷公園の悪い点	みどり	外来種を伐採すること、落ち葉清掃やりすぎ、桜が少なくなった
	施設	遊具、園路の傷み、池の水質、トイレ、暗い、駐輪場が少ない、ベンチ、雨を受ける屋根がない
	利用マナー	夜間騒がしい、ゴミのポイ捨て、犬の糞
② ①を踏まえて、どのような碑文谷公園を残したいか	保全	自然、動物とのふれあい、桜
	充実	動物との触れ合いを拡充、子どもの遊びの充実
	子ども	安全に遊べる場所、子どもの居場所、子どもたちの原風景
	連携	関係者の横連携、若い人の場づくり
③ ②のような碑文谷公園の実現に向けて何があると良いか	その他	静かに過ごせる公園、地元の人のための公園
	施設	ベンチ、あずまや、雨宿りの場所、休憩できる場所、飲食できる店、キッチンカー
	運営	池と砂場の管理・植物の剪定・日よけに収支を回せると良い、週末等の相談窓口
	ボランティア・見守り	夜にも誰かの目がほしい、防犯カメラの充実、常駐で見守る人、子どもを遊ばせる人、ボランティアによる掃除やゴミ拾い、ボランティア活動へのインセンティブ
	子ども	子どもの意見を聞く、小学生と未就学児の遊ぶスペースを分ける(球技利用など)
その他意見等	若年層	若年層向けのイベントを年2回くらい、若年層との連携
	実証実験イベント	にぎやかだった、今後も実施してはどうか、子どもが楽しめなかった、外の人がたくさんきても地元のことを思っているわけではない
	公民連携	Park-PFIへの肯定、公民連携しなくて良い、ショップは高架下であればよい、地域が意見を言える場を設定すること

5) 今年度の取組の結果を踏まえて

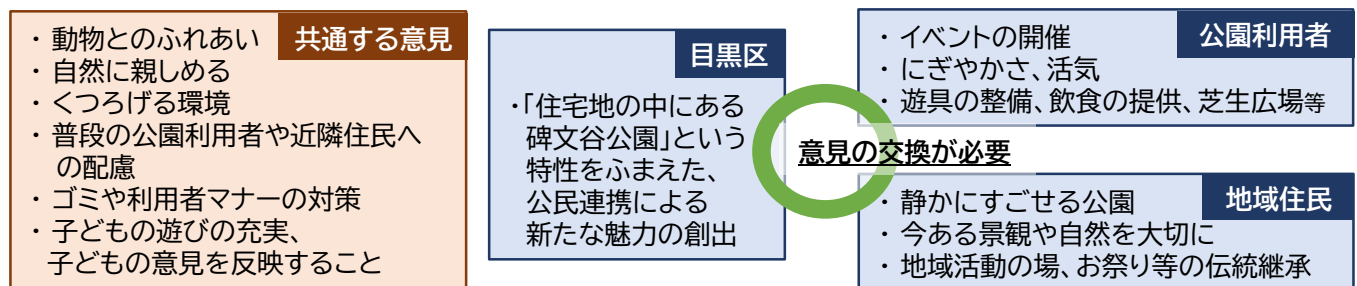
◆ 実証実験とアンケート調査の結果から

イベント当日は来場者が多く、アンケートの結果からも碑文谷公園で今回のようなイベント開催を求める声が多くあることが分かりました。一方で、今後の碑文谷公園に欲しいかという視点では、特に要望が高かったキッチンカーとその他コンテンツとで要望の高さに差があり、公園利用者や地域にどのようなイベント・コンテンツが求められているのか、今後も検討していきます。また、実証実験を行い明らかになった今後の課題は、イベント等で発生する音に関しての近隣への更なる配慮・工夫や、周辺道路への路上駐輪対策として、臨時駐輪スペースの確保や見回りや声掛けに改善が必要であること、また、今回のイベントでは、コンテンツの対象年代に偏りがあったため、子ども向けの内容を増やすことも必要だと考えます。

◆ 今後、区が皆様と検討していきたいこと

イベント来場者を中心としたアンケート調査結果と「碑文谷公園を話し合う会」での意見交換の内容からは、今後の碑文谷公園に求めることや目指す姿について、目黒区、公園利用者、地域住民の意見が一致するところが多くありつつも、まだ意見交換が必要な内容があることも分かりました。

公園利用者・地域に愛される碑文谷公園としていくためには、引き続き、区も含めた公園に関わる人たちが、お互いの意見を知り、意見を交わし、すり合わせていくことが大切と考えています。碑文谷公園における新たな公民連携を検討していく過程では、令和6年4月以降も、皆様と意見交換ができる機会を設けていきたいと考えています。詳細が決まりましたら、あらためてお知らせしますので、ぜひご参加をお願いします。

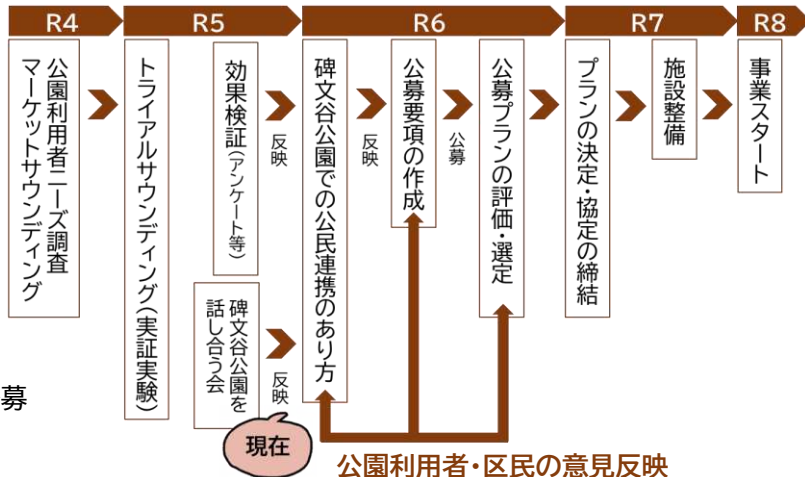


6) 今後の予定

Park-PFI実施の場合の想定スケジュール

令和4年度の調査、5年度に実施した実証実験やアンケート調査、意見交換の結果を踏まえ、公募設置等指針(公募要項)に反映する「碑文谷公園における公民連携のあり方」をまとめていきます。より良い公民連携による碑文谷公園の魅力アップを実現するため、公園利用者・地域の皆様と意見交換等を行いながら検討を進めてまいります。

令和6年度 公募設置等指針の策定、事業者公募
 令和7年度 事業者との協定締結、施設整備
 令和8年度 事業開始



公募設置管理制度(Park-PFI)

(都市公園法第五条の二)

飲食店、売店等の公園利用者の利便の向上に資する公募対象公園施設の設置と、当該施設から生ずる収益を活用してその周辺の園路、広場等の一般の公園利用者が利用できる公園施設の整備・改修等を一体的に行う者を、公募により選定する制度。

≪ 公募設置管理制度(Park-PFI) のイメージ ≫

